#### 食 の向こう側

# 食べることからつながる農業と地域社会

このコーナーでは、主に消費・流通の分野で 自然農法・有機農業の普及に取り組んでいる方々を紹介します。

地域社会の実現を願って活動してい 宝の「一遍上人聖絵」に描かれてい 会会長の大倉秀千代さんを訪ねまし る備前福岡の市圏地産地消推進協議 消費者が顔の見える関係でつながる と農工商関係者が700余年ぶりに です。その中世福岡の市を地域住民 る「中世福岡の市」で有名なところ よみがえらせたのが「備前福岡の市」。 今回は、長船町福岡で、生産者と 岡山県瀬戸内市長船町福岡は、

## 都会暮らしから田舎暮らしへ

働いていましたが、 のうどん店と農業を継ぐことになり の病を機に故郷へUターンし、 大学入学を機に上京、 大倉さんは岡山県で生まれ育ち、 約20年前、 東京の企業で

> たそうです。 するためには農を基軸とした地域社 自分の店が中心となって頑張らなく く感じた大倉さんは、地域を元気に てはならないと心に強い決意を持っ 会づくりが必要であり、そのために で、農地が宅地へ変わり、 自然豊かな田舎暮らしを送る中 地域が衰退していく様を寂し 高齢化が

作を慣行栽培ではじめました。 えてもらいながら水稲と小麦の二毛 んどなかったので、近所の知人に教 当初、大倉さんは農業経験がほと

ず、それならばと一念発起して自分 とを知った大倉さんは、小麦粉の入 ぎ小麦」という品種が地元にあるこ の田んぼで栽培することを決意しま 手を試みました。しかし入手でき した。かねてから食への関心が高く 一方で、うどんに最適な「しらさ

> なりました。 問を感じていた大倉さんは、就農? 地球環境や人々の健康に害を及ぼす を使ったうどんを提供できるまでに 切り替え、自家栽培のしらさぎ小麦 年目から無農薬・無化学肥料栽培に 農薬や化学肥料を使用することに疑

した。 に雑草対策に成功することができま ました。その結果、水稲、小麦とも 稲1998年、小麦2008年)し い、先生の指導で合鴨農法を導入(水 岡山商科大学の岸田芳朗教授と出会 ム」に参加したことをきっかけに した。そんな時「岡山合鴨フォーラ しかし、一番の悩みは雑草対策で

されます。

をあげて5店舗が出店し盛大に開催

「備前福岡の大市」として地域

## よみがえる「備前福岡の市

いう思いは、やがて多くの人の共感 大倉さんの地域を元気にしたいと

開催の定例市となり、4月と11月に 市でした。その後、 前福岡の市」が産声をあげました。 を得て、2006年3月、現代版「備 商工業者10数組が出店する手作りの 元住民が切り開き、近隣の農業者 福岡の市史跡碑に隣接する竹藪を地 毎月第4日曜日

忙しい日常の中、食にかける手間暇 をどう選ぶかは、 言えます。けれども、食の多様化や を良くする』と書くように、食べ物 大倉さんは語ります。「『食』は『人 価格優先の物選びになりが 生き方そのものと



備前福岡の市圏地産地消 千代さん





とれたての農産物や加工品が並ぶ備前福岡の市



エサを探して稲の合間をすい すい泳ぐ合鴨たち

#### 市は出会いの場

ています。

を合い言葉に取り組んでいます。 市は地 の場を目指し、 市 通じて伝えています。 作り手だから分かる情 工芸家が出店し、 は消費者と生産者をつなぐ出会 育て方など) 元の生産者・ 「対面・体験・学び 対面直売です。 を、 加工業者 報 対 (調 話を 理

②出店者が毎月順番に体験教室を開 ③妙興寺住職の辻説法、 催しています。 備 験の 蒸 技」を自宅でも実践できます。 福 緒に作ることを通して「匠 デジタルミュージアム& できる 尚 0) 町 親 並 などで学べます。 身近な素材を使 み見学会、 子 田んぼ 国宝「一遍 と 食

が増えれば、 どのように農水産物を育て加 ることになるのではないかと思って 的に商品を購入することが生産者を 着も深まるでしょう。 応援し、 わからない背景が見え、 いるかを知ることは、 につながります。顔見知りの生産者 、ます。」 地域社会の経済を盛り上げ 地域とのつながりや愛 そして、 表示だけでは 安心 工. 信頼

農業や地域社会の衰退など、

社会問題の多くが、

実は食と強く関

通した地域社会の中に、

ると考えています。

地

元の生産者が 解決策があ 顔の見える関係でつながる農と食を 連しているのではないでしょうか。 ちになっ

7

生活習慣病や

アレルギーの

)増加 ・ます。

医療費

の増大、 今日

設け1泊2日の農業体験を受け入れ ています。 希望者を支援するシステムを構築し 手農家をはじめ、 増やしていくことを目指して 術を活かした循環型農業を推進・普 大倉さんたちは、 地域農業を「育てる」 その一つとして、 小規模でも自立できる農家を また牛窓町に宿泊施設を 地元の農家が就農 地域の資源や技 瀬戸内市の若

 $\langle \cdot \rangle$ 

がり、 いうのが大倉さんの願いです。 が参画できる市に育てて すます広がっていき、 工品や料理であふれ、 や職人によって育てられた食材、 自然とのつながりを大切にする農家 和みにつつまれた市は、 ながりが一層深まっています。 安心して暮らすために大切な、 化が図られています。そして人々が 絆の再生につながるなど地域の活性 心を元気にしています。 人とのつながり、 民 備 の地域に対する誇りがうま 前 健康な食を通した心と体の 福 岡 0) 市 人と自然とのつな 0) 食べる人々 地域のみんな 復活によ 瀬戸内 この輪がま いきたい 市 り 加

備前福岡の市が開催している体験教室一覧(要予約)				
	5月	名刀味噌 「味噌作り教室」	10月	ワッカファーム 「無農薬野菜を使った料理教室」
	6月	延原素麺 「手延べ素麺のおいしい茹で方教室」	12月	サトウキビ工房あずま 「生キャラメルづくり教室」
	7月	アドバンス 「夏休み木工教室」	1月	手作りつけ物の時実 「漬け物教室」
	8月	日本オリーブ 「ベビーとママのマッサージ教室」	2月	田淵いちご園 「いちごジャム作り教室」
	9月	さんぽみち 「秋の寄せ植え教室」	3月	一文字 「手打ちうどん数室」

※4月と11月はお休みです。変更の場合がありますので、事前にご確認ください。 ※ご予約・お問い合わせは備前福岡の常設市(0869-26-2978)まで。

岡山市長船町福岡、通称「備 前福岡」。近江の国から追わ れた黒田官兵衛の祖父が一族 を引き連れてこの地に移住 黒田家の再興の基盤を整 えました。やがて黒田官兵 衛と子・長政は大名、大大

名へと発 展します。 黒田家に とって「備 前福岡」 礎 は の地です。



技術普及課

鈴木

晃